

キッズ大陸フロンタウン生田園

言語方針

- ◇ 保育方針：個を受容し、共感する中で主体性を育む
- ◇ 教育方針：技能と心の調和
- ◇ 教育理念：スポーツを使って調和のとれた『心・技・体・知』を育む

1. 言語についての方針

私たちは全教員が言語の教師であり、言語が園児の個人的及び社会的成長に不可欠であることを理解しています。言語は身近な人との関わりの中で、自分の意思や意見、感情を伝え、それに相手が応答し、その言葉を聞くことを通して次第に育まれ、個人のアイデンティティを形成するためのツールとなります。

子どもは言語を通して自分の世界を知り、その外部に関心を向け、探究活動や人との交流を通じて、自身の世界を広げていきます。また様々な活動の中で、言語を使って振り返ったり、人と話し合ったり、協働したりすることで、新たな気づきを得ながら、学びを深めていきます。

このように、当園では他者との信頼関係のもと、安心できる環境の中で子ども一人ひとりの背景を踏まえ、園児の言語能力を伸ばす機会を提供します。

2. 言語方針の作成について

国際バカロレアが提供する研修「言語の役割」での学習内容を踏まえ、園長、施設長、プログラムコーディネーターで構成されるリーダーシップチームが草案を作成しました。草案に対し、同じ研修を受けた全職員が校正に参画、全職員の意見を反映したうえで学校コミュニティに公開しました。一年に一度全職員で見直しを行い、よりよい方針へと更新を行います。

3. 園における言語の学習環境について

1) 学校コミュニティ内の言語グループ

園児・保護者・職員の大半が日本語を母語としているため、日常のコミュニケーションの多くは日本語で行っています。保護者への連絡や配布物についても同じく日本語ですが、サポートが必要な場合は、職員が必要に応じて通訳するなどの対応をしています。

2) 指導言語について

当園の指導言語は日本語です。日本語を正しく学ぶことを目的とし、日頃の探究活動や各プログラムの理解を深めるためにも、指導言語をベースにおいた学習環境を整えます。また、第二言語として英語プログラムを週1回行うほか、様々な国の文化や言語に触れる機会を多く設けています。

日本語以外の母語を持つ園児に対しても指導言語は同じく日本語ですが、インクルーシブなIBプログラムの実践と平等な学習参加を実現するため、担任を中心に保護者と連携をはかりながらきめ細やかなサポートを行います。

3) リソース・環境設定について

園児が自信をもって自分の力を発揮し、言語学習に対する意欲を維持・向上できるようにするとともに、園児の言葉に対する理解を広げられるよう、足場づくりとなる環境を整えたり、機会を提供したりします。また、マルチリテラシーを支えるために、製作など学習の環境を充実させ、絵本や図鑑といった図書、視聴覚資料やタブレット端末といったメディアをリソースとして提供しています。

日本語を母国語としない園児に対しては、園内でそれぞれの母語や母国の文化に触れられるような環境づくりに努めていきます。また、各家庭における母語での言語教育を勧めるとともに、年齢に合った絵本やマルチメディアリソース等の提案を行うほか、園での言語発達の状況等を共有し、園と家庭の相互における言語の発達を促していきます。

4) 評価について

園児の心身の発達に合わせた、言語のスコープ&シークエンスを別途定めています。言語のスコープ&シークエンスでは各学年終了時に習得が期待される言語に対する姿勢やスキルを定めています。

教員は POI の設計、UOI の計画前及び実施中の記録と振り返りにおいて、言語のスコープ&シークエンスで目標を確認し、目標達成に向けた活動を計画、目標達成を評価するプロセスを検討します。年 2 回実施する保護者との個人面談及び日常的なコミュニケーションにおいて園児の言語的背景、言語能力の発達状況及び言語能力発達に関する家庭の方針を聞き、その内容を踏まえて探究活動の次のステップを調整・検討します。また、単元終了時の総括的評価では、園児の言語の発達状態を評価し記録します。このとき、言語学習に特別なニーズのある園児に対しては差別化された指導方法を検討・実施し、それが有効かを観察・評価し、改善を図ります。

評価にあたっては、評価方針の定めに則り、モニタリングを中心とした方法で園児の言語の発達状態を把握します。また保護者はスコープ&シークエンス及び園の言語方針を理解し、園が園児に対して行った評価に賛同するよう努めます。そうすることで学校コミュニティ全体での評価を統一することができます。

5. 言語教育における約束ごと

- * 日常の会話を通じて、話すことと聞くことの姿勢を身に着けます。
- * 自分の感じたこと・伝えたいことを言葉にして素直に相手に伝え、会話を楽しみます。
- * 母語を大切にし、自由に思考を働かせることを楽しみます。
- * 挨拶を行うことの意味を理解し、日常の挨拶を自ら積極的にを行います。
- * 言葉の意味を理解し、相手の気持ちを尊重しながら、丁寧かつ正確な言葉使いを心がけます。
- * 文字を書くことに興味を持ち、書くことを楽しみます。
- * 沢山の経験を通してイメージを豊かにし、言葉で表現します。
- * 絵本や物語に親しみを持ち、ストーリーを理解します。
- * 自分の意見に自信を持って、人前で発表できるようになります。
- * それぞれの環境にはそれぞれの言語があることを理解し、それらを大切に扱います。

6. 見直しの仕組み

- ・ 園児の言語の発達状況を踏まえ、毎年度末に園の言語プロフィールを見直したうえで言語方針を見直します。
- ・ 家庭言語と指導言語が異なる園児が入園した場合、またはこれまでの保育園経験の言語と指導言語が異なる園児が入園する場合にも言語プロフィールを更新し、適宜言語方針を見直します。
- ・ 言語プロフィールの見直しにあたっては各学年の教員、園児、園児の保護者と適宜協議します。

○関連法規/参考文献

- ・ 保育所保育指針
- ・ 学校言語方針策定ガイドライン（2008 年 4 月）
- ・ IB プログラムでの言語と学習（2011 年 12 月）
- ・ IB プログラムでの母語以外の言語での学習（2008 年 8 月）

○関連資料

- ・ 言語のスコープ&シーケンス
- ・ 評価方針
- ・ 入園方針
- ・ インクルーシブ方針
- ・ 学問的誠実性に関する方針

最終更新日：2024 年 3 月